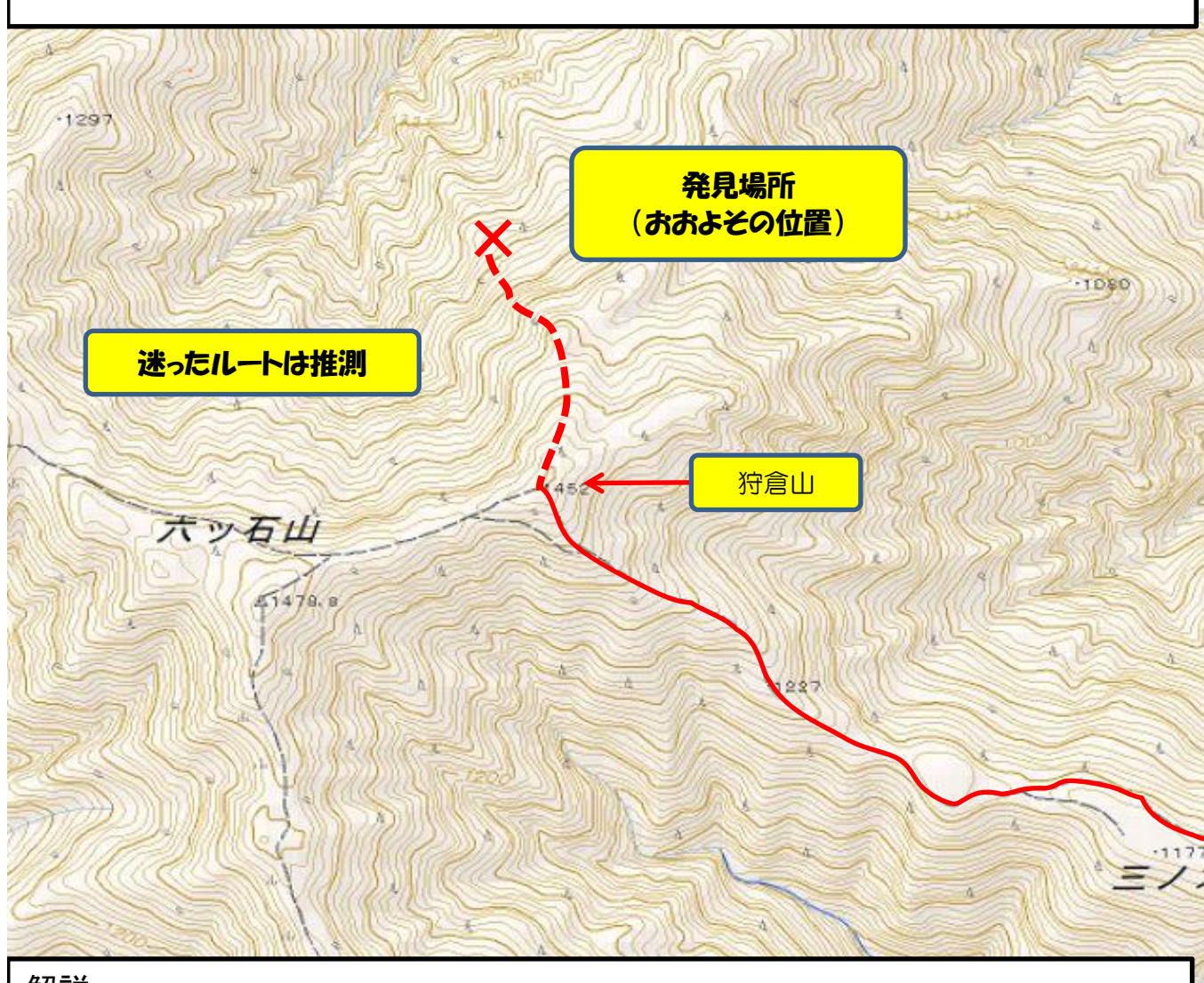


狩倉山遭難(2011年7月)

3人のうち先頭を行く1人が道に迷い遭難。軽装であったが、季節が夏のため、運よく捜索3日目に発見された。



解説

参考にさせて頂いた図書: 金 邦夫 「すぐそこにある遭難事故」(東京新聞)(本文参照)

「狩倉山に続く防火帯にはジグザグに踏み跡がついている。正規の登山道ではないから明瞭といえない。そして、途中、防火帯をそって北側へ平行に入り込む細い仕事道がついている。この仕事道に迷い込んだのではないだろうか。霧も出ていたという。

防火帯からそって道が不明瞭になった時点でなぜ戻らなかったのだろう。一人で来ているのではなく、大声を出せば聞こえる距離に仲間もいるのだ。焦る気持ちがだんだん深みへと導いていく。

初心者型の道迷い遭難である。「はぐれ遭難」は初心者と家族連れに特に多い。パーティーの分離、分裂は大きな遭難事故に発展することを肝に銘ずべきである。」

おっしゃるとおりです。すべては本文の言葉通りだと思います。遭難防止を心がけたいですね。